



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 ダイハツディーゼル株式会社  
コード番号 6023 URL <http://www.dhtd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀田 佳伸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 水科 隆志

TEL 06-6454-2331

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	47,246	26.5	1,143	17.7	1,162	31.9	1,045	22.2
2022年3月期第3四半期	37,357	2.9	1,389	971.0	1,707	883.7	1,344	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,362百万円 ( 5.8%) 2022年3月期第3四半期 1,446百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	33.12	
2022年3月期第3四半期	42.35	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	92,212	43,870	47.5
2022年3月期	89,268	43,069	48.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 43,826百万円 2022年3月期 43,030百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		15.00	15.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	23.3	3,000	43.4	3,200	27.6	2,500	27.0	78.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	31,850,000 株	2022年3月期	31,850,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	280,235 株	2022年3月期	93,335 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	31,574,150 株	2022年3月期3Q	31,732,860 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が段階的に緩和されたことにより、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、期初からの急激な円安の進行や物価上昇圧力の高まり等、経済環境は依然として予断を許さない状況で推移しました。

世界経済におきましても、中国ゼロコロナ政策等による経済成長の鈍化に加え、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の上昇を背景に各国でインフレが加速する等、先行きの見通せない不透明な状況が続きました。

当社の主要な販売先である造船・海運業界につきましては、2023年1月からEEXI（就航船燃費規制）とCII（燃費実績による船舶格付け制度）が始まり、カーボンニュートラル社会の実現に向けて高まる環境規制への対応が大きな課題となっております。また、船員不足が常態化しているなかで安全航行を支えるデジタル技術の活用も必須となっております。

このような企業環境下、当社グループの存在意義に立脚した中長期ビジョン「POWER! FOR ALL beyond 2030」を策定いたしました。企業理念の実践を通じた社会価値の創造拡大と、企業としての持続的な成長との双方の実現を目指し、未来につながるパワーサプライカンパニーとしてサービタイゼーションを加速しつつ、2050年のネットゼロミッション達成に向け全社をあげて取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間では、機種構成の変化と円安基調により売上高は47,246百万円（前年同四半期比26.5%増）となったものの、利益面におきましては、価格競争激化と原材料費高騰等により営業利益1,143百万円（前年同四半期比17.7%減）、経常利益は1,162百万円（前年同四半期比31.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,045百万円（前年同四半期比22.2%減）となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### <内燃機関部門>

##### イ) 船用機関関連

コンテナ船向けを中心に大型機関やデュアルフューエル機関の売上構成比率増に加え、メンテナンス関連の売上増加ならびに為替の影響等により、売上高は39,900百万円（前年同四半期比30.5%増）、セグメント利益は3,081百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

##### ロ) 陸用機関関連

機関売上は増加したものの、一部の物件の採算性が悪化したこと等により、売上高は4,218百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント損失は596百万円（前年同四半期は32百万円のセグメント利益）となりました。

従いまして、当部門の売上高は44,118百万円（前年同四半期比27.6%増）、セグメント利益は2,484百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

#### <その他の部門>

##### イ) 産業機器関連

アルミホイール部門に関しましては、売上構成の変化により売上高は増加となり、セグメント利益は減少となりました。

##### ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高は微増となり、セグメント利益は減少となりました。

##### ハ) 売電関連

売電関連に関しましては、売上高、セグメント利益とも増加となりました。

##### ニ) 精密部品関連

精密部品関連に関しましては、売上高、セグメント利益とも増加となりました。

従いまして、当部門の売上高は3,127百万円（前年同四半期比12.8%増）となり、セグメント利益は450百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の部では、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が、1,753百万円増加し、28,899百万円となりました。また、前連結会計年度末に比べ、棚卸資産につきましては、5,323百万円増加、流動資産その他につきましては、主に未収消費税の増加により1,347百万円増加となりました。一方で、受取手形、売掛金及び契約資産につきましては、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み、5,810百万円減少となりました。その結果、資産の部合計が、2,944百万円増加し、92,212百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計が前連結会計年度末に比べ、2,876百万円増加となりました。一方、短期借入金と長期借入金の合計につきましては、約定返済等により、759百万円減少となりました。その結果、負債の部合計が、2,143百万円増加し、48,342百万円となりました。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ、配当金の支払476百万円を行いました。親会社株主に帰属する四半期純利益を1,045百万円計上したため、利益剰余金が569百万円増加となりました。その結果、純資産の部合計が、801百万円増加し、43,870百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度から0.7ポイント低下して、47.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年10月21日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,146	28,899
受取手形、売掛金及び契約資産	18,336	12,525
棚卸資産	12,685	18,008
その他	1,896	3,244
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	60,058	62,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,133	8,868
機械装置及び運搬具（純額）	5,792	5,884
土地	5,084	5,084
建設仮勘定	525	862
その他（純額）	777	749
有形固定資産合計	21,314	21,449
無形固定資産		
投資その他の資産	628	524
投資有価証券	2,707	2,844
繰延税金資産	4,096	4,302
その他	474	432
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	7,267	7,568
固定資産合計	29,209	29,542
資産合計	89,268	92,212

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,777	8,087
電子記録債務	5,502	7,068
短期借入金	4,440	4,461
リース債務	309	186
未払法人税等	869	171
賞与引当金	671	242
役員賞与引当金	35	34
未払費用	5,050	5,806
その他	2,474	2,969
流動負債合計	26,132	29,028
固定負債		
長期借入金	9,871	9,090
リース債務	271	213
役員退職慰労引当金	34	43
退職給付に係る負債	7,216	7,307
資産除去債務	194	195
その他	2,478	2,463
固定負債合計	20,066	19,314
負債合計	46,199	48,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434	2,434
資本剰余金	2,173	2,175
利益剰余金	38,393	38,963
自己株式	△43	△130
株主資本合計	42,957	43,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	295	326
繰延ヘッジ損益	△7	23
為替換算調整勘定	97	278
退職給付に係る調整累計額	△313	△244
その他の包括利益累計額合計	72	383
非支配株主持分	39	43
純資産合計	43,069	43,870
負債純資産合計	89,268	92,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	37,357	47,246
売上原価	29,072	37,869
売上総利益	8,285	9,376
販売費及び一般管理費		
販売費	5,242	6,441
一般管理費	1,652	1,791
販売費及び一般管理費合計	6,895	8,232
営業利益	1,389	1,143
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	37	28
持分法による投資利益	20	46
為替差益	11	—
業務受託料	198	39
貸倒引当金戻入額	2	0
雑収入	115	46
営業外収益合計	391	171
営業外費用		
支払利息	64	65
為替差損	—	49
雑損失	8	36
営業外費用合計	73	152
経常利益	1,707	1,162
特別利益		
固定資産売却益	1	2
補助金収入	152	264
特別利益合計	153	266
特別損失		
固定資産廃棄損	4	47
特別損失合計	4	47
税金等調整前四半期純利益	1,857	1,382
法人税、住民税及び事業税	498	593
法人税等調整額	14	△261
法人税等合計	512	331
四半期純利益	1,344	1,050
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,344	1,045

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,344	1,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	30
繰延ヘッジ損益	—	30
為替換算調整勘定	36	24
退職給付に係る調整額	12	69
持分法適用会社に対する持分相当額	39	157
その他の包括利益合計	101	311
四半期包括利益	1,446	1,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,445	1,357
非支配株主に係る四半期包括利益	0	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	30,565	4,019	34,585	2,772	37,357	—	37,357
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	30,565	4,019	34,585	2,772	37,357	—	37,357
セグメント利益	2,640	32	2,672	369	3,042	△1,652	1,389

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	39,900	4,218	44,118	3,127	47,246	—	47,246
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	39,900	4,218	44,118	3,127	47,246	—	47,246
セグメント利益又は 損失(△)	3,081	△596	2,484	450	2,935	△1,791	1,143

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3. 補足情報

#### (1) 生産、受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

##### 1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	前年同四半期増減率	
				%
内燃機関部門	馬力			%
船用機関関連	868,560	39,900	30.5	
陸用機関関連	20,648	4,218	4.9	
その他の部門	—	2,653	15.3	
合 計		46,771	26.8	

(注) ①金額は、販売価格によっております。

②上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### 2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	数 量	金 額	前年同四半期増減率	数 量	金 額	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	馬力		%
船用機関関連	1,114,576	56,589 (34,648)	26.3	2,068,861	59,682 (31,099)	52.9
陸用機関関連	59,390	8,101 (912)	0.1	130,921	9,440 (745)	7.2
その他の部門	—	2,996 (—)	37.8	—	940 (—)	70.4
合 計		67,686 (35,561)	22.9		70,063 (31,845)	44.8

(注) ①金額は、販売価格によっております。

② ( ) 内は輸出受注高、輸出受注残高を示し、内数であります。

③上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### 3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数量	金額	輸出比率	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	%
船用機関関連	868,560	39,900 (26,550)	66.5	30.5
陸用機関関連	20,648	4,218 (180)	4.3	4.9
その他の部門	—	3,127 (—)	—	12.8
合 計		47,246 (26,731)	56.6	26.5

(注) ① ( ) 内は輸出高を示し、内数であります。

②主要な輸出地域及び割合は次のとおりであります。

アジア (74.3%)、欧州 (17.4%)、中南米 (4.9%)、北米 (2.7%)、その他 (0.7%)

③「その他の部門」には精密部品関連 (1,219百万円)、産業機器関連 (1,433百万円) および不動産賃貸関連等 (474百万円) を含んでおります。

④上記の金額には、消費税等は含まれておりません。